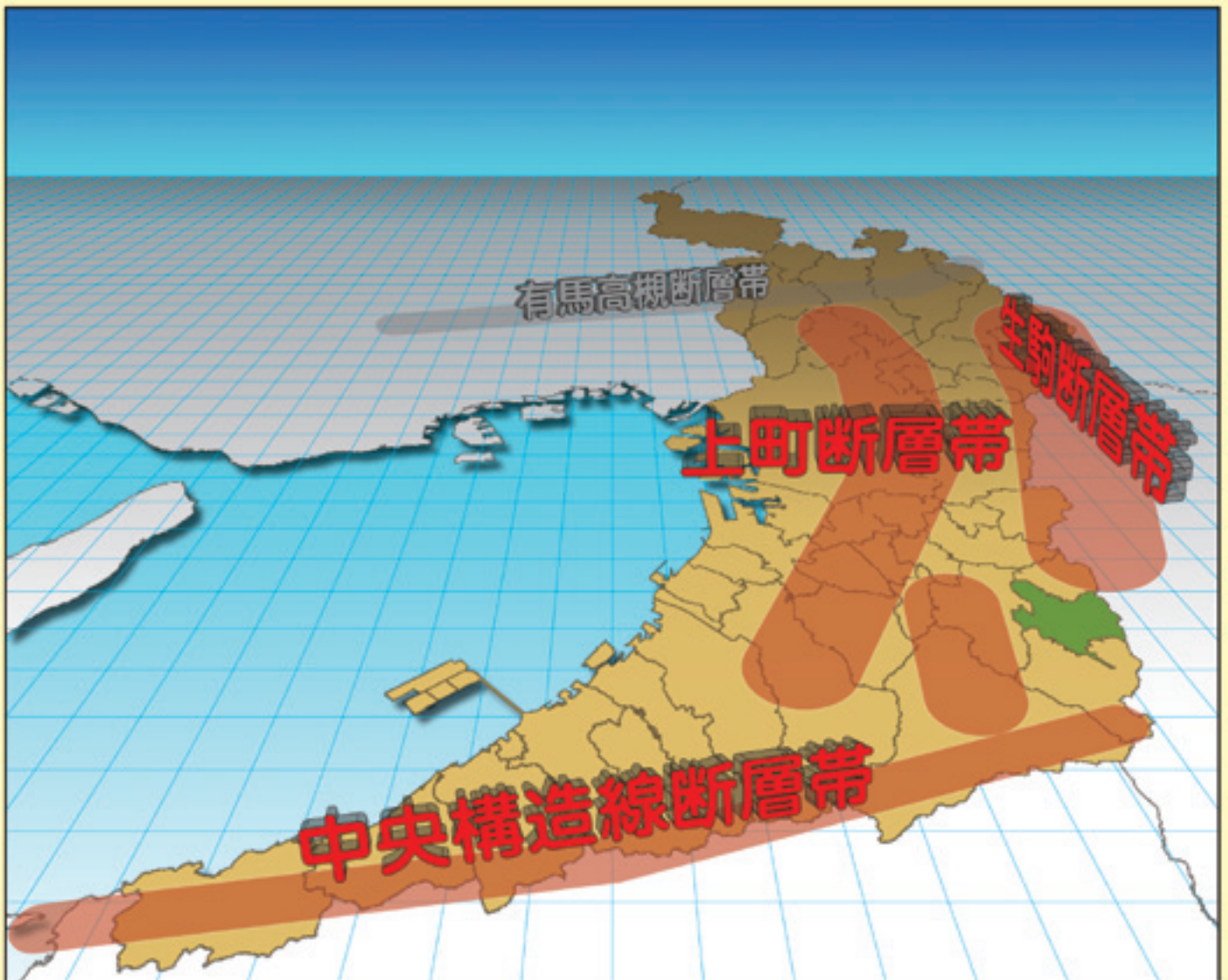


河南町

地震ゆれやすさマップ



地震ゆれやすさマップとは

地震はどうして起きるの？

震度ってなに？

ゆれやすさマップ

防災早見表

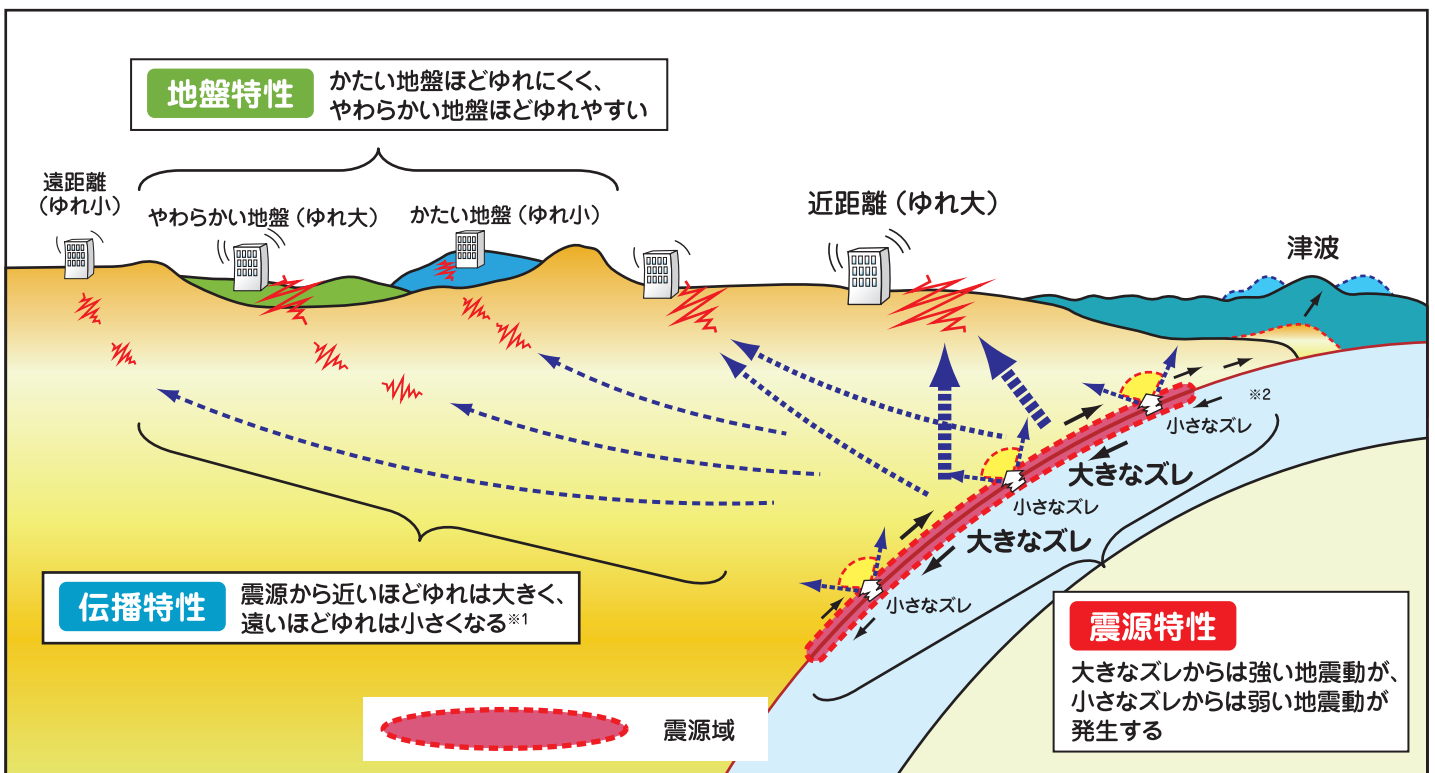
地震ゆれやすさマップとは

地域のゆれやすさを地盤の状況とそこで起こりうる地震の両面から評価し、地震動の強さで表したマップを「ゆれやすさマップ」といいます。(地震防災マップ作成技術資料 平成17年3月 内閣府)

河南町内でも影響があると思われる、内陸地震(①上町断層帯 ②生駒断層帯 ③中央構造線断層帯)と海溝型地震(④東南海・南海地震)を想定し、大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定)報告書(平成19年3月)をもとに、本町域においては、震動(計測震度)、液状化(液状化危険度)及び本町域地形状況等を考慮し100mメッシュで「ゆれやすさマップ」を作成しました。

地震はどうして起きるの?

地震とは、地下の岩盤が周囲から押されることによってある面を境としてずれる現象のことをいいます。この岩盤のずれが起きると地震波が周囲に伝わり、やがて地表に達すると地表が「ゆれ」ます。私たちは、この「ゆれ」で地震が地下で発生したことを知ります。(内閣府資料より)



※1 盆地で地震波が集中する場所などでは、震源から遠くても大きいゆれとなる場合がある。

※2 地震は断層(震源域)の急激なずれによって生じる。一つの地震でも震源域では大きなずれを生じる場合がある。

震度ってなに?



多くの地点で客観的な震度を迅速に決めるために、気象庁では1996年4月から震度計による震度(計測震度)を採用し、体感による震度決定を廃止しました。

地震情報などにより発表される震度階級は、観測点におけるゆれの強さの程度を数値化した計測震度から換算されたものです。(計測震度とは、地震を観測する震度計内部で計算された数値です。)

計測震度と震度階級

震度階級	震度0	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
計測震度	0~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~

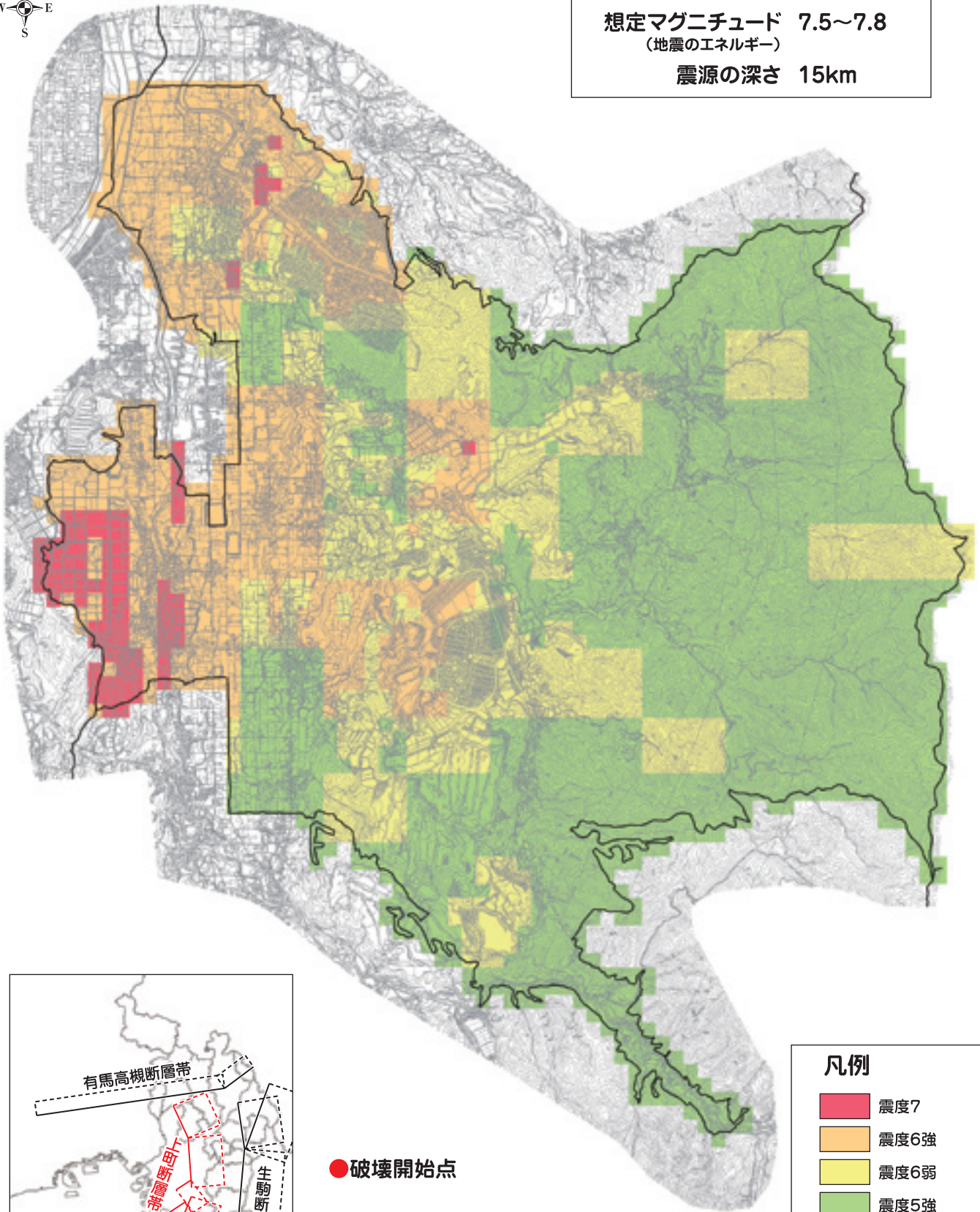
「震度5」および「震度6」は、発生する被害状況の幅が広すぎるため、平成8年10月からこれを2つに分けて、それぞれ「震度5弱」、「震度5強」および「震度6弱」、「震度6強」とし震度階級は10階級となりました。

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況	木造建物	鉄筋コンクリート造建物
震度 7	 立っていることができず、はわないと動くことができない。ゆれにほんろうされ、飛ばされることもある	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	建物の壁のタイルや窓ガラスが破損し、落下物がさらに多くなる	耐震性が高い：壁などのひび割れなどが多くなる。まれに傾くことがある	耐震性が高い：1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くことがある
震度 6強	 立っていることが困難になる	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる	補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる	耐震性が低い：建物が傾くものや倒れるものが多くなる	耐震性が低い：1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある
震度 6弱	 立っていることが困難になる	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある	耐震性が低い：瓦が落下したり建物が傾いたりする。倒れるものもある	耐震性が低い：壁、柱などの部材にひび割れなどが多くなる
震度 5強	 大半の人が、物につかまらなと歩くことが難しい	棚にある食器類などで、落ちるものが多くなる。固定していない家具が倒れることがある	補強されていないブロック塀が崩れることがある。自動車の運転が困難となる	耐震性が低い：壁などにひび割れなどがみられることがある	耐震性が低い：壁、柱などの部材にひび割れなどが入ることがある
震度 5弱	 大半の人が恐怖を覚え、物につかまらなと感じる	電灯などのつり下げ物は激しくゆれる。座りの悪い置物の大半が倒れる	電柱がゆれるのがわかる。道路に被害が生じることがある	耐震性が低い：壁などに軽微なひび割れなどがみられることがある	
震度 4	 歩いている人のほとんどがゆれを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます	電灯などのつり下げ物は大きくゆれ、棚にある食器類は音を立てる	電線が大きくゆれる。自動車を運転していて、ゆれに気付く人がいる		
震度 3	 室内にいる人のほとんどが、ゆれを感じる	棚にある食器類が音を立てることがある	電線が少しゆれる		
震度 2	 室内で静かにしている人の大半が、ゆれを感じる	電灯などのつり下げ物が、わずかにゆれる			
震度 1	 室内で静かにしている人の中には、ゆれをわずかに感じる人がいる				

① 上町断層帯地震B(南部) を想定したゆれやすさマップ



想定マグニチュード 7.5~7.8
(地震のエネルギー)
震源の深さ 15km



● 破壊開始点

凡例

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱
- 震度4以下

1,000 500 0 1,000
メートル